

# リンゴの冬季せん定時の花芽整理と翌年の花芽着生

福島県農業総合センター 果樹研究所栽培科

## 1 部門名

果樹－その他－収穫

## 2 担当者

斎藤祐一、額田光彦、阿部和博、湯田美菜子

## 3 要旨

リンゴの冬季せん定時において、頂花芽果台から発生した新梢(10cm以下)の弱小花芽を除去する方法は、翌年に優良な短果枝花芽を形成するために有効である。

(1)この花芽整理は、頂花芽の果台から発生した10cm以下の新梢について、冬季せん定時に先端の弱小花芽を除去する方法である(図1)。

(2)この方法により、開花や果実肥大に使われる貯蔵養分の浪費を防ぎ、翌年に優良な短果枝花芽が形成される(表1、図2)。

(3)腋花芽着生新梢の除去(図3)や衰弱枝の除去(図4)は、花芽着生が少ない。



図1 頂花芽果台新梢の弱小花芽除去方法

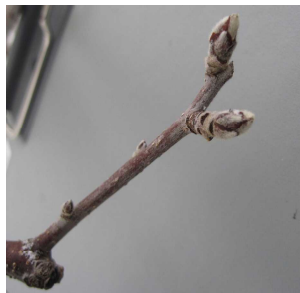


図2 弱小花芽除去新梢の翌年の花芽着生

表1 弱小花芽の除去が花芽着生に及ぼす影響

	着果数 (個)	総頂芽数 (個)	優良花芽数 (個)
せん定処理	0.0	2.6	1.3
無処理	0.9	1.6	0.7
F値	6.3	10.9	17.9
有意性	ns	*	*

注) 表中データは、調査果そう当たりの個数

注) 短果枝で大きい花芽を優良花芽としその個数を調査した。



図3 腋花芽着生新梢の除去



図4 衰弱枝の除去

## 4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成20年度～26年度

(2) 研究課題名 モモ・リンゴの低樹高化による省力・高生産栽培技術の確立  
(リンゴの低樹高化による省力・高生産栽培技術の確立)

(3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料